

平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 ユニパルス株式会社
 コード番号 6842 URL <http://www.unipulse.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 吉本喬美
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長 (氏名) 和田倫幸
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-5148-3000

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	924	21.6	4	—	11	—	2	—
21年9月期第1四半期	759	—	△17	—	△14	—	△11	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	0.41	—
21年9月期第1四半期	△2.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	8,287	4,728	57.1	907.82
21年9月期	8,313	4,810	57.8	921.51

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 4,728百万円 21年9月期 4,809百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	—	—	15.00	15.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	1,934	0.4	65	—	51	—	13	—	2.49
通期	4,053	6.9	135	—	108	—	68	—	13.05

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第1四半期 5,377,500株 21年9月期 5,377,500株

② 期末自己株式数 22年9月期第1四半期 169,100株 21年9月期 158,600株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第1四半期 5,214,257株 21年9月期第1四半期 5,320,176株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、一部に景気の持ち直しが見られるものの、引き続き企業業績、設備投資等は低水準で推移し、依然先行きが不透明な状況が続いております。当社グループにおきましてもロジスティクス分野等の受注は伸び悩みました。しかし、海外への積極的展開等をいたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は924百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益は4百万円(前年同期は営業損失17百万円)、経常利益は11百万円(前年同期は経常損失14百万円)、四半期純利益は2百万円(前年同期は四半期純損失11百万円)となりました。

電子機器製造事業

電子機器製造事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は727百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は16百万円(前年同期は営業損失7百万円)となりました。品目別の内訳は、次のとおりであります。

【ウェイング・FA(ファクトリーオートメーション)】

当第1四半期連結累計期間の売上高は429百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

【環境】

当第1四半期連結累計期間の売上高は29百万円(前年同期比74.7%増)となりました。

【ロジスティクス】

当第1四半期連結累計期間の売上高は64百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

【セキュリティ】

当第1四半期連結累計期間の売上高は3百万円(前年同期比34.0%減)となりました。

【情報・通信】

前期途中より株式会社ナノテックスを連結子会社化した影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は20百万円(前年同期比2,563.3%増)となりました。

【メカトロニクス】

前期下期にハードディスク検査装置等記録機器を中心とした不採算事業の大幅な見直しをいたしましたが、前期途中より株式会社ナノテックスを連結子会社化したこと等の影響もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は83百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

【光計測】

前期途中より株式会社ナノテックスを連結子会社化した結果新たに加わった分野であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は5百万円となりました。

【ロードセル等】

当第1四半期連結累計期間の売上高は70百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

【その他の電子機器】

当第1四半期連結累計期間の売上高は19百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

電設事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は196百万円(前年同期比287.0%増)、営業損失は12百万円(前年同期は営業損失13百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末より56百万円減少し、5,991百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が115百万円増加したものの、現金及び預金が96百万円、棚卸資産が40百万円、完成工事未収入金が16百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より29百万円増加し、2,296百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により23百万円減少したものの、貸付け等により投資その他の資産が53百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末より39百万円減少し、1,313百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が187百万円、工事未払金が31百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が189百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末より95百万円増加し、2,245百万円となりました。これは主に、社債が70百万円減少したものの、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より82百万円減少し、4,728百万円となりました。これは主に、自己株式を4百万円取得したこと、配当金の支払い等により利益剰余金が76百万円減少したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月13日発表の「平成21年9月期 決算短信」から下記の通り業績予想を修正いたします。

当社グループを取り巻く環境は今後も厳しい状況が継続するものであると予想されることから、当期売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

具体的には、ロジスティクス分野で約2.5億円(第2四半期累計会計期間で約1億円)、情報・通信分野で約1億円、メカトロニクス分野で約1億円(第2四半期累計会計期間で約1億円)、光計測分野で約1億円の減収を見込んでおります。

それに伴い、営業利益、経常利益及び当期(四半期)純利益はいずれも前回予想を下回る見込みとなりました。

平成22年9月期の第2四半期連結累計期間連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,358	116	106	19	3.67
今回発表予想(B)	1,934	65	51	13	2.49
増減額(B-A)	△424	△51	△55	△6	
増減率(%)	△18.0	△44.0	△51.9	△31.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	1,927	△11	3	△27	△5.11

平成22年9月期の通期連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,642	328	308	130	25.00
今回発表予想(B)	4,053	135	108	68	13.05
増減額(B-A)	△589	△193	△200	△62	
増減率(%)	△12.7	△58.8	△64.9	△47.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	3,791	△38	△10	△37	△7.18

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

当第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準第15号)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準適用指針第18号)を適用しておりますが、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約については、進捗部分について成果の確実性が認められる工事はなかったため、工事完成基準を適用しております。

これに伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,016,494	1,112,879
受取手形及び売掛金	824,480	709,072
完成工事未収入金	63,488	80,140
有価証券	2,804,241	2,804,345
商品及び製品	91,228	96,970
仕掛品	510,549	484,042
原材料及び貯蔵品	362,061	366,143
未成工事支出金	19,855	77,380
繰延税金資産	155,027	163,146
未収還付法人税等	129,130	130,225
その他	34,482	36,763
貸倒引当金	△20,040	△13,897
流動資産合計	5,991,001	6,047,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	573,812	581,863
土地	895,283	895,283
その他(純額)	166,906	168,913
有形固定資産合計	1,636,002	1,646,060
無形固定資産		
のれん	47,757	58,531
その他	27,735	30,410
無形固定資産合計	75,492	88,942
投資その他の資産		
投資有価証券	12,380	12,436
繰延税金資産	14,620	13,809
投資不動産(純額)	263,631	264,861
その他	300,941	247,119
貸倒引当金	△6,746	△6,744
投資その他の資産合計	584,827	531,482
固定資産合計	2,296,323	2,266,485
資産合計	8,287,324	8,313,695

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,456	325,164
工事未払金	7,670	39,464
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	470,940	658,440
その他	139,974	149,592
流動負債合計	1,313,040	1,352,661
固定負債		
社債	240,000	310,000
長期借入金	1,549,800	1,378,140
退職給付引当金	35,849	36,691
役員退職慰労引当金	10,500	9,450
負ののれん	101,330	107,634
長期未払金	295,593	295,593
その他	12,902	12,902
固定負債合計	2,245,975	2,150,412
負債合計	3,559,016	3,503,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,733,612	1,733,612
資本剰余金	1,733,505	1,733,505
利益剰余金	1,348,654	1,424,807
自己株式	△79,682	△75,107
株主資本合計	4,736,089	4,816,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,781	△7,525
評価・換算差額等合計	△7,781	△7,525
新株予約権	—	1,330
純資産合計	4,728,307	4,810,621
負債純資産合計	8,287,324	8,313,695

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	759,914	924,415
売上原価	422,909	547,660
売上総利益	337,004	376,754
販売費及び一般管理費	354,479	372,108
営業利益又は営業損失(△)	△17,474	4,646
営業外収益		
受取利息	2,626	1,697
受取配当金	—	2
負ののれん償却額	—	6,303
不動産賃貸料	6,127	8,619
その他	939	1,322
営業外収益合計	9,693	17,946
営業外費用		
支払利息	4,254	9,112
不動産賃貸費用	1,122	1,884
その他	1,186	586
営業外費用合計	6,563	11,582
経常利益又は経常損失(△)	△14,344	11,010
特別利益		
固定資産売却益	—	269
貸倒引当金戻入額	22,029	—
新株予約権戻入益	—	1,330
特別利益合計	22,029	1,599
特別損失		
固定資産売却損	79	—
固定資産除却損	—	10
投資有価証券売却損	—	50
特別損失合計	79	60
税金等調整前四半期純利益	7,605	12,548
法人税、住民税及び事業税	2,398	3,109
法人税等調整額	16,222	7,307
法人税等合計	18,620	10,417
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,015	2,130

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年9月14日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結会計期間において、自己株式10,500株の取得を行いました。

この結果、自己株式は当第1四半期連結会計期間において4,574千円増加し、第1四半期連結会計期間末残高は79,682千円となりました。